

くらしの安全と化学分析

～あなたの検査結果は本当に正しいですか？～

化学分析は、食の安全や健康、環境保護など様々な分野において、私たちの経済活動を支えています。このため、化学分析の測定結果には、信頼性が求められます。ここでは、**食の安全分野**を例に、信頼性のある測定結果に必要とされるものの一つであるトレーサビリティについてわかりやすく紹介します。

開催日時：2021年7月8日(木)10時～12時

開催形式：参加費無料・ウェビナー(GoToWebinarシステムを使用します)

お申込みはこちらから

<https://bit.ly/3yJEcym>



講演

認証標準物質と計量トレーサビリティ

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 大竹 貴光様

化学分析における計量トレーサビリティの在り方と認証標準物質の担う役割について、測定結果に及ぼす影響を交えてお話しいただきます。

標準物質の品質グレードと適切な選択方法

シグマ アルドリッチ ジャパン合同会社 松島 江里香

*シグマアルドリッチジャパン合同会社はメルクのグループ会社です

分析結果のクオリティを左右する標準物質は、行う分析の目的から適切な標準物質を選択する事が重要です。しかし、市場では様々な種類、グレードの標準物質が存在し時折混乱を招いています。ここでは標準物質の品質グレードの違いと選択方法について紹介します。

認証標準物質～分析の第一歩は信頼できる認証標準物質(CRM)から～

Restek株式会社 内海 貝

トレーサビリティの確保だけではなく、ラボの作業負担軽減にもつながるCRMについて、農業関連を中心に紹介します。

精度管理における認証標準物質の上手な使い方について

日本電子株式会社 榎本 剛司

試験者の力量や試料前処理方法の妥当性、測定システムのバラツキなど、定量値に影響を及ぼす要素は多く、この妥当性を評価する必要があります。ここでは、認証標準物質を使用した妥当性評価方法のポイントをご紹介します。

このような方にお勧めです

- ・ ラボのトレーサビリティについて学びたい
- ・ 標準物質や認証標準物質について理解を深めたい
- ・ 組成型認証標準物質の活用方法について知りたい

本ウェビナーは、日本電子株式会社・シグマ アルドリッチ ジャパン・Restekによる共同開催です。